

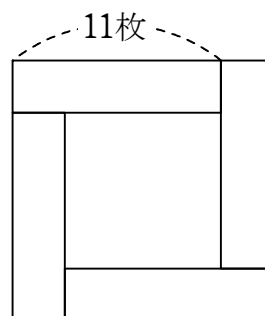
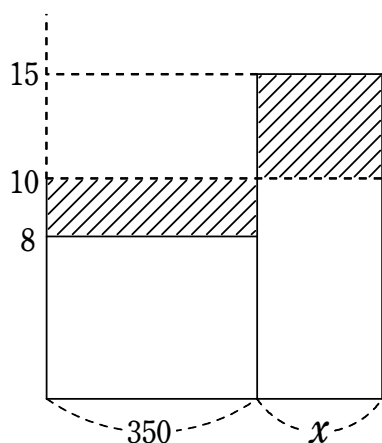
算数

出題の傾向

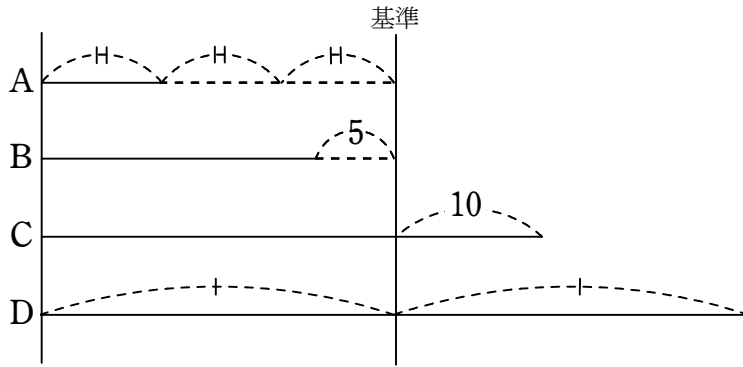
① は基本的な計算を出題しています。② はいろいろな分野から小問を出題しました。③～⑤ では特定の分野にかたよらない幅広い範囲から出題し、文章を正確に読み取り解答できるかどうかを見ました。この傾向は 2019 年度入試も変わらない予定です。

2018 今年度の出題と解説

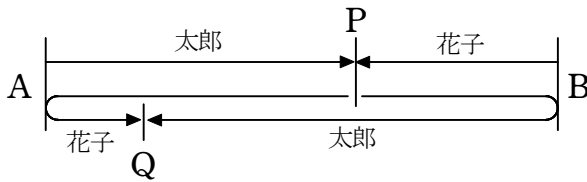
- ① 整数、小数、分数とまんべんなく出題しています。落ち着いて確実に解答し、満点を目指しましょう。
- ② (1) 連続した 5 つの奇数の真ん中の数は平均値になるので、真ん中の数は $185 \div 5 = 37$ となる。最大の数は $37 + 4 = \underline{41}$
- (2) 売上の金額は(仕入れ) + (利益)だから $50 \times 250 + 2580 = 15080$ 。売ったりんごの個数は $15080 \div 65 = 232$ となり売れ残ったりんごの個数は $250 - 232 = \underline{18}$ (個)
- (3) B の個数を 60 個にそろえて考える。「A36 個と B60 個は同じ」「A40 個は B60 個より 20kg 重い」となるので、A4 個が 20kg となる。 $20 \div 4 = \underline{5}$ (kg)
- (4) 下のような面積図をかいて考えると分かりやすい。 $2 \times 350 = 5 \times x$ となり、 $x = \underline{140}$ (g)
- (5) 1 分間に短針は 0.5° 、長針は 6° 進む。6 時 20 分のそれぞれの針の位置は 1 番上の「12」を基準にすると長針は $6 \times 20 = 120^\circ$ 、短針は $180 + 0.5 \times 20 = 190^\circ$ だからその差は $190 - 120 = \underline{70^\circ}$
- (6) 大きな正方形の 1 辺に並んでいるタイルは 11 枚ではなく、12 枚。 $12 \times 12 = \underline{144}$ (枚)



- 3 等しくなる 4 つの数を基準として、4 つの整数 A, B, C, D の大きさを線の長さで表すと、



- (1) A の 3 倍が基準で、その基準の 2 倍が D なので D は A の 6 倍
- (2) 基準は A の 3 倍だから B は A の 3 倍より 5 小さく、C は A の 3 倍より 10 大きい。D は A の 6 倍なので 4 つの整数を足すと A の 13 倍より 5 大きくなる。A は $(200 - 5) \div 13 = \underline{15}$
- (3) 基準は 45 となるので B は 40, C は 55 となる。B : C = 40 : 55 = 8 : 11
- 4 (1) 2 人が 1 分間に走る道のりは $180 + 120 = 300$ (m) だから、 $1800 \div 300 = \underline{6}$ (分)



- (2) P 地点で 2 人がすれ違ってから次に Q 地点で 2 人がすれ違うまでに 2 人が走った道のりの和は 1800m の 2 倍だから $1800 \times 2 \div 300 = \underline{12}$ (分)
- (3) A 地点から P 地点まで太郎君は 6 分走っているので $180 \times 6 = 1080$ (m)。A 地点から Q 地点までは $1800 \times 2 - 180 \times (6 + 12) = 360$ (m), P 地点から Q 地点までの道のりは $1080 - 360 = 720$ (m)
- 5 (1) 長方形 ABCD から三角形 ABP をひく。 $8 \times 12 - 8 \times 4 \div 2 = \underline{80}$ (cm²)
- (2) 三角形 ABP の面積は長方形 ABCD の $\frac{3}{8}$ だから、 $8 \times 12 \times \frac{3}{8} = 36$ (cm²), BP の長さは $36 \times 2 \div 8 = \underline{9}$ (cm)
- (3) 三角形 ABD の面積は 48cm² だから三角形 AED の面積は 32cm², (三角形 ABE) : (三角形 AED) = 1 : 2 より BE : ED = 1 : 2 となり, BP : AD も 1 : 2 となる。
 $BP = 12 \times \frac{1}{2} = 6$ (cm)

対策と アドバイス

問題数は例年 20 問程度で配点も各 5 点です。難しい問題や苦手な問題に時間をかけないで自分の解ける問題を確実に正解しましょう。特に 1, 2 はしっかりと、または 3~5 は (1) だけでも確実に正解しましょう。入試では 100 点を取る必要はありません。算数の苦手な人は 50 点以上を、得意な人は 70 点を目指してみましよう。また、普段から丁寧な字を書くことも心がけましよう。1 と 7 や 0 と 6 など読み取りにくい字もよく見かけます。注意してください。